

# 原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2026/10/19号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



## 【現状確認】



## 供給不安で100ドル台回復

NY原油先物相場は、1バレル=101ドル台中盤まで急伸する展開になった。供給不安の織り込みが進み、期近限月主導で急伸した。9月18日以来の高値を更新している。中東ではサウジアラビアとイエメン武装組織フーシ派との間で攻撃の応酬が続いている。原油供給に対する直接的な影響は限定されているが、先行き不透明感が強い。また、ホルムズ海峡ではイランによる商船への攻撃が激化している。湾岸諸国からの原油供給の不安定化が警戒されていることも、原油相場には押し上げ要因になった。

また、ウクライナとロシアの戦闘も激化している。トランプ米大統領は両国の間で「エネルギー停戦」が実現したと報告していたが、ウクライナ軍はロシアの製油所などに対する攻撃を強化している。一部でロシアの製油所の稼働縮小も報告されており、供給リスクの織り込みが進んだ。一方、国際エネルギー機関（IEA）は既に実施済みの3億3,000万バレルに加えて、1億バレルの石油備蓄を放出することを正式に決定した。合計で4億3,000万バレルとなり、3月に合意された4億バレルを上回る見通し。

米エネルギー情報局（EIA）発表の米石油在庫（10月9日時点）は、原油が前週比856万バレル減、ガソリンが352万バレル増、石油精製品が253万バレル減となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレマー）をお読み下さい。

## 【展望】

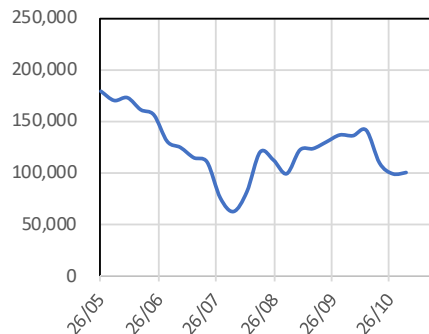
### 供給不安の織り込みが続くと、9月高値を試す

供給不安の高まりを受けて、上振れリスクが高い状態が続く。中東ではサウジアラビアとイエメン武装組織フーシ派の間で攻撃の応酬が続いているが、サウジアラビアの石油関連施設が大きなダメージを受けるようなことがあると、さらに急伸する可能性が高まる。また、イランはホルムズ海峡の船舶通航の管理を強化している。11月3日の米中間選挙に影響を及ぼす目的があるとの報道もあるが、タンカーに対する攻撃報告などがみられた際にも、原油相場が急伸する可能性がある。WTI原油は100ドル、ブレント原油は110ドルの節目を上抜いたことで、チャート主導の買いも膨らみやすくなっている。WTI原油は9月高値106.75ドル突破を意識した展開になろう。

原油供給に対する直接的な影響が限定されても、前週のように軍事的な緊張感が高まった状態が続くと、原油相場の上振れリスクは高まる。新たな軍事行動が報告される状況が続くと、このままじり高基調が続こう。特に、前週はウクライナがロシア製油所に対する攻撃を強化する動きが目立った。ロシアの製油所やパイプラインが大きなダメージを受けると、ディーゼル燃料の供給不安を織り込む動きが強まる可能性がある。

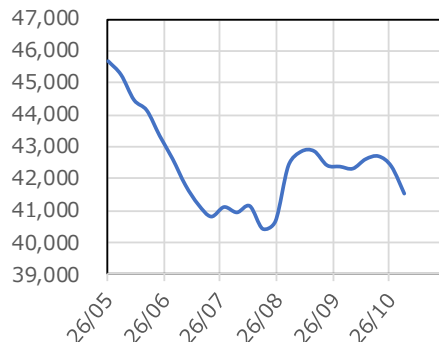
一方、国際エネルギー機関（IEA）は1億バレルの石油備蓄放出で合意している。ディーゼル燃料は2,000万バレルをできる限り早く放出するとされている。中東やロシアの戦闘状態が一服すると、短期的な過熱感もあり、調整売りが膨らむ可能性がある。米国とイランの停戦協議に関する新たな動きが報告された場合や、株価急落で投資家のリスク選好性が後退するといった動きがみられた際にも、上値の重い展開になる可能性はある。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



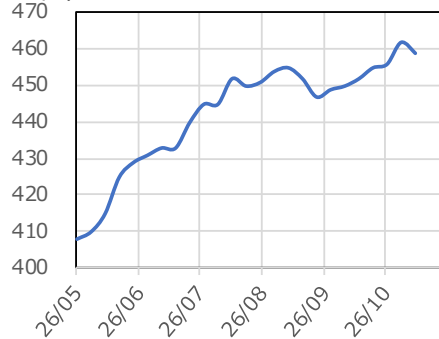
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

## 【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒104-0033 東京都中央区新川1-3-21 BIZ SMART 茅場町 321号

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL：03-6661-9498 【E-mail】 [info@markededge.co.jp](mailto:info@markededge.co.jp)

### 小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は  
ツイッターで

